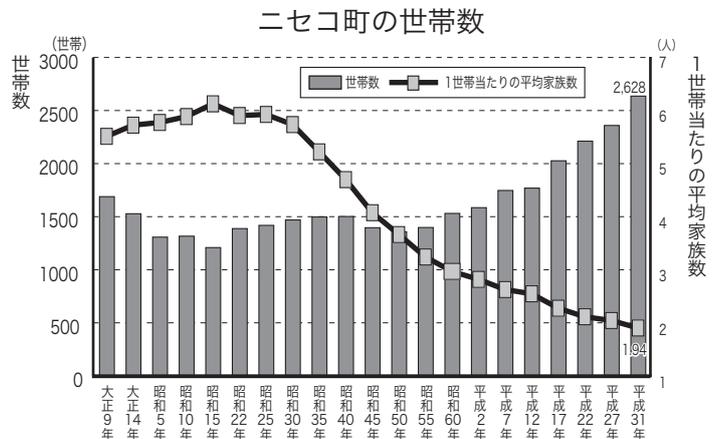
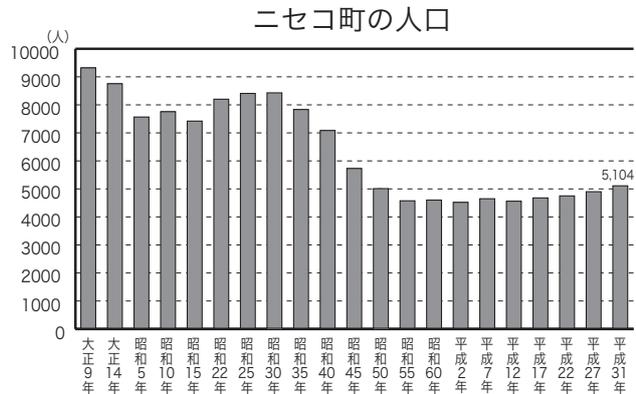


## Q. 13 ニセコ町の人口(外国人)推移はどうなっていますか？

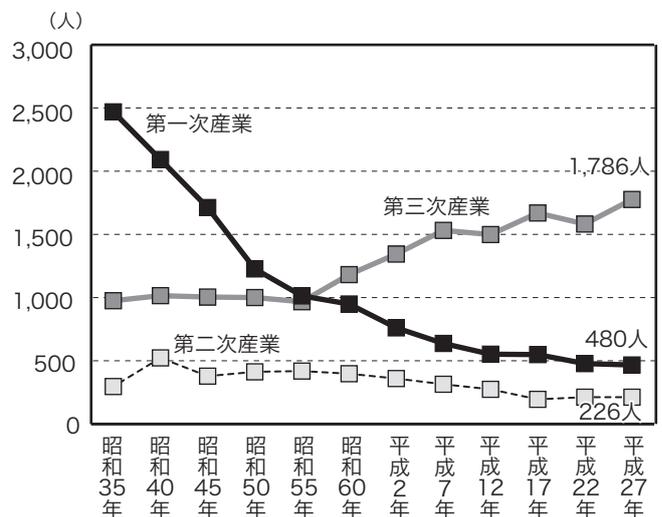
### ○ニセコ町の人口の状況

これまでの町の人口を見てみると、最も人口が多かった年は大正9年で9,330人。その後戦争の影響で人口は減りますが、戦後は回復し昭和29年に再度ピークを迎えます。そして、昭和50年代まで減少した後緩やかに増加しており、平成31年3月31日の人口は5,104人となっています。



### ○産業別人口の推移

ニセコ町では、昭和55年まで急速に第一次産業の人口が減少しました。これは上のグラフの人口減少と一致しています。しかし、昭和55年を境に第三次産業の人口と第一次産業の人口が逆転し、増加する第三次産業の人口が、減少する第一次産業の人口を補う形となりました。そのため、しばらくの間は人口に大きな変動がありません。そして、バブル経済が崩壊した影響を乗り越え、第三次産業の人口は増加の傾向にあります。一方、第一次産業人口の減少は、下げ止まりのきざしにあります。また、「ものづくり」を支える第二次産業人口の減少が続いています。

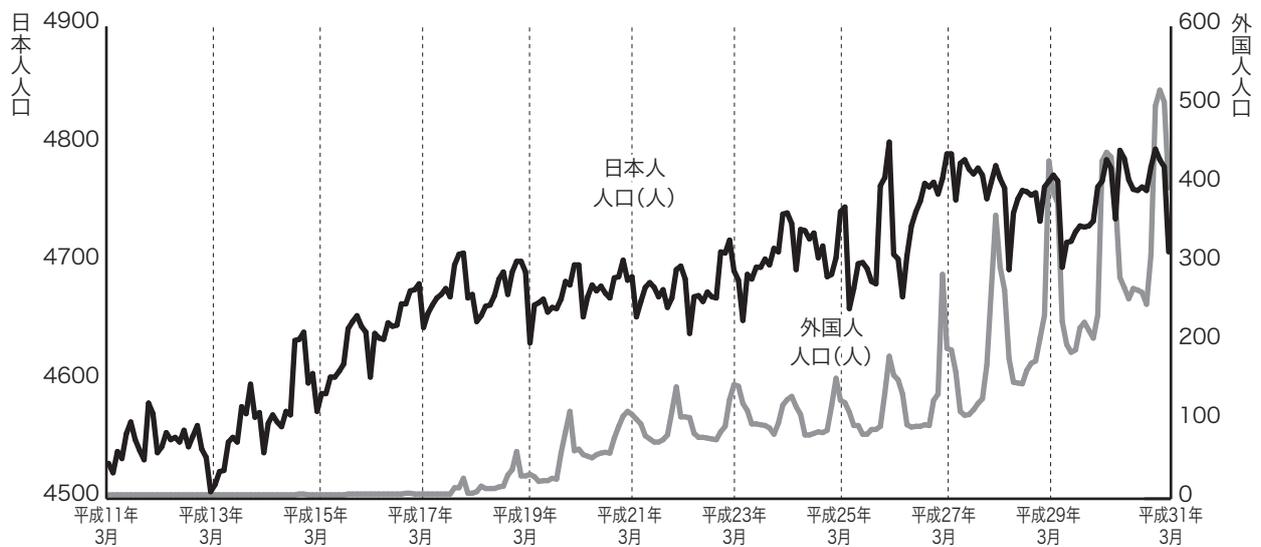


## ○ニセコ町の外国人の推移

平成17年頃から、外国人観光客の入り込みが増加するとともに、定住化が顕著となり、人口増加に大きく寄与しています。

また、まちづくりの進展とともに、日本人の移住者も増え、平成31年1月には4,787人(ニセコ町の人口がもっとも減った平成2年と比較すると+304人)、外国人519人、合計5,306人と、昭和49年時を更新しました。

平成11年3月から平成31年3月まで20年間の人口推移(単位:人)

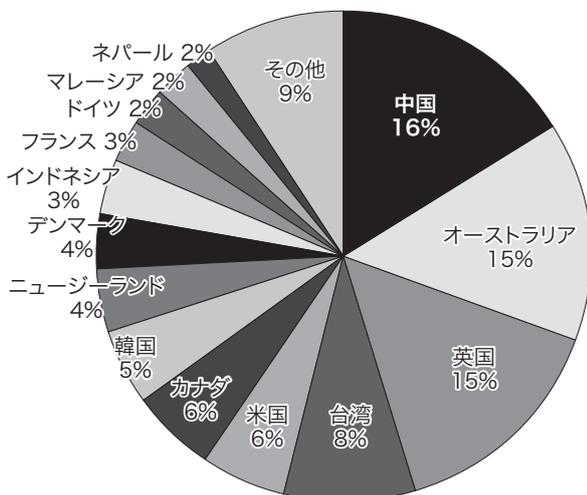


## ○外国人の国籍別登録者数

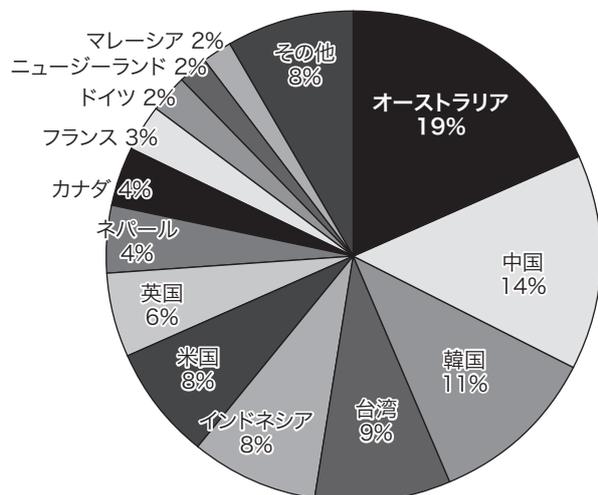
増加を続ける外国人登録者ですが、その内訳はどうなっているのでしょうか?最も込み合う冬期と人口が落ち込む初夏を比較してみました。

実に多種多様な外国人が在住していることがわかります。

2019年1月 合計519人 35カ国



2018年6月 合計254人 30カ国



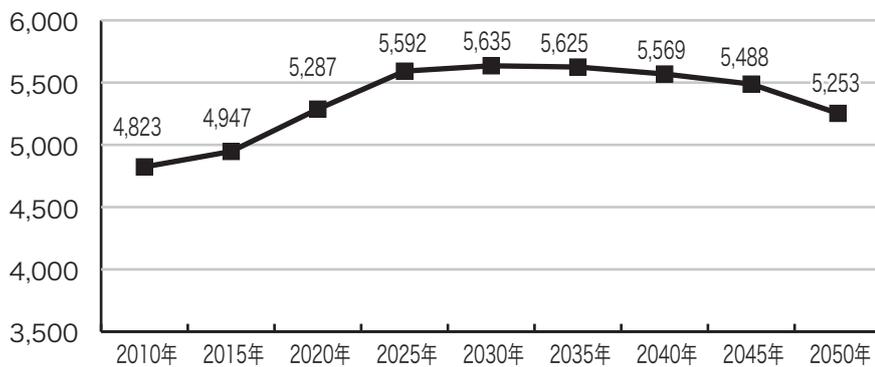
## ○人口推移と推計

平成27年度、「ニセコ町自治創生総合戦略」の策定時において、「人口ビジョン」を示し、その中で将来人口推計を行いました。

この将来人口推計時では、コーホート法を用いるとともに、以下3点の仮定により町独自の推計を行った結果、2060年にわたり、概して5,000人規模を維持する想定となっています。

〈将来人口推計の仮定の考え方〉

- ①合計特殊出生率を、2040年にかけて1.8に上昇させる。
- ②人口の順移動率を、2060年にかけて直近(平成17年⇒平成22年)の半減に抑える。
- ③平成27(2015)年からの10年間で500人分の住宅整備を目指す。

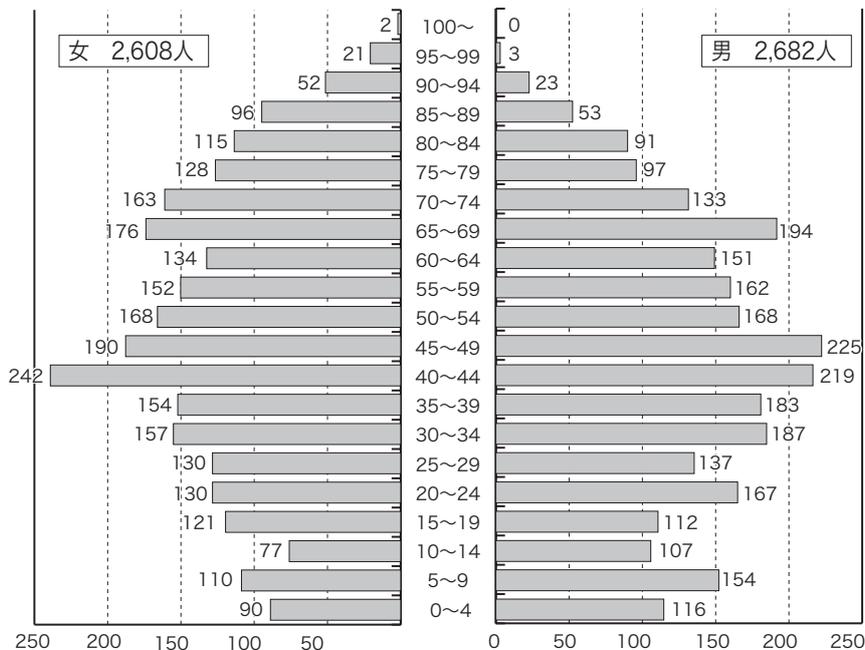


※2015(平成27)年の値は推計値

## ○人口ピラミッド

5歳段階別の人口内訳

(平成31年2月末現在)



なお、ニセコ町の合計特殊出生率(一人の女性が一生のうちに産む子供の数)は平成27年の調査では1.65で、全国平均1.44(平成28年)や全道平均の1.29(平成28年)より上回っています。

合計特殊出生率が2.07を下回ると、人口は減少するといわれており、高齢化率の上昇傾向とあわせて、ニセコ町でも少子高齢化が進んでいる状況にあります。